

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成29年度第1回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	平成29年6月29日（木）午後7時00分～9時00分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター3階ホール
出席委員の氏名 又は人数	直田春夫会長、岸本信子委員、村上均委員、藤井琢己委員、大前道廣委員、米田育子委員、清水賢一委員、肥田雅之委員、高橋章子委員、小林茂夫委員、吉川勝子委員、藤井久美委員 計12名
欠席委員の氏名 又は人数	真鍋宣征委員、黒崎晃史委員、徳丸徹委員
出席職員の職・氏名 又は人数	西脇市長 片山象三、都市経営部長 筒井研策、まちづくり課長 池田正人、まちづくり課主査 村上尚正、まちづくり課主任 和田裕行 計5名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1名
議題又は協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員委嘱 2 委員紹介（自己紹介） 3 市長あいさつ 4 協議等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 諮問 (2) 平成29年度西脇市まちづくり推進審議会予定等について (3) 地域自治協議会モデル事業について <ol style="list-style-type: none"> ① 黒田庄地区 ② 比延地区 5 意見交換 <ol style="list-style-type: none"> (1) 参画と協働の進捗について (2) 参画と協働の意見交換 6 その他（今後の予定等） <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2回西脇市まちづくり推進審議会 (2) まちづくり活動審査部会

会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
	<p>○委員委嘱</p> <p>○市長あいさつ</p> <p>○委員紹介(委員及び事務局から自己紹介)</p>
市長	<p>○協議等</p> <p>(1)諮問</p> <p>i 地域自治一括交付金を活用した地域自治協議会モデル事業の検証及び本格実施に向けた制度設計について</p> <p>ii 西脇市地区まちづくり実践補助事業及び西脇市市民提案型まちづくり事業の企画書の審査について</p> <p>以上の内容について審議会の意見を求める。</p> <p>◇片山市長から直田会長へ諮問書の受け渡し</p>
事務局 会長	<p>(2)平成29年度西脇市まちづくり推進審議会予定等について</p> <p>・事務局から資料1「平成29年度西脇市まちづくり推進審議会の予定等について」に沿って概要を説明</p> <p>先ほど市長から諮問をいただいたが、今年度は主に比延地区、黒田庄地区で進み始めた地域自治協議会のモデル事業について、進捗状況の報告などを参考にしながら、一括交付金を活用したモデル事業についての御意見を委員の皆さんからいただき、事業の検証へとつなげたい。</p> <p>今年度2地区で地域自治協議会が設立され、地域自治協議会モデル事業を実施されていくということで、次年度の初めにはそのモデル事業の決算等をそれぞれ出されると思うが、一括交付金の活用、事業の効果などの検証についてはその時点で見えていくことにするのがよいかと思う。そのため、今後の審議会の進行予定としては2か年で予定を出してもらっている。</p> <p>あいだに委員改選があるが、その点は問題ないか。</p>
事務局 会長	<p>審議会委員の委嘱期間は2年で、委員の皆様の任期にそれぞれの事業の進捗等を合せることはどうしても難しい場合もあるが、今回も地域自治協議会の制度の本格実施に向けたモデル事業の検証といった重要なことを審議会に諮問しているため、委員の皆様には御理解をいただいたうえで、あらためて委員の継続を含め御検討いただき、御協力をいただきたいと思います。</p> <p>委員の皆さんには、これまでから重要なことを話し合い、審議会としての意見を答申として市へ届けるという重要な役割を担っていただいたが、今後の西脇市の参画と協働について制度</p>

	<p>設計を含め話し合っていく重要なところであるため、それぞれ御検討いただければと思う。</p> <p>また、昨年度に引き続き、地区まちづくり実践補助事業と市民提案型まちづくり事業の審査についてはまちづくり活動審査部会にお願いしたい。部会の委員の皆さんには補助金の使い方という重要な審査をお願いし、また何度か部会に出ていただくことになり、御負担をお掛けするがよろしく願います。</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>委員</p>	<p>(3)地域自治協議会モデル事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料2「平成29年度地域自治協議会に関する取り組み状況」に沿って概要を説明 ・続けて事前に委員からいただいた地域自治協議会の取り組み状況に関する質問（①6次産業とはどういったものか ②6次産業を活用したコミュニティビジネス等とは具体的にどのようなことか ③「千年の風土を未来につなぐNEW黒田庄づくり」とはどのような計画か ④各地区（比延地区、黒田庄地区、津万地区）のまちづくり、自治活動における問題点と課題 ⑤各地区の団体（ムラ、消防、女性会、老人会、子ども会育成会など）の現状、問題点と課題 ⑥各地域自治協議会の事業計画と現計画の状態定義（ゴールイメージ） ⑦各地域自治協議会の事業計画に基づく重要施策の一覧、実施理由・目論見、実施責任者 ⑧資料「西脇市自治基本条例推進スケジュール」のうち提示されている地区以外の地区の状況）についての回答を、「平成29年度第1回まちづくり推進審議会御質問等」の回答欄及び当日配布資料（資料1から4）に沿って説明 <p>事務局からの説明のとおり、今年度は比延地区、黒田庄地区において地域自治協議会を設立され、活動を始められている。西脇市で初の地域自治協議会ということで、注目されているところもたくさんあることと思う。それぞれの地区で中心となって進めてこられた方が当審議会の委員でいらっしゃるの補足などお話を伺いたい。また、地域自治協議会の設立については、これまで当審議会でも多く意見を出し合い、審議を重ねてきた重要なことであるが、実際に形になった地区ができたことで、委員の皆さんも御意見等があるかと思う。そういったことがあれば伺いたい。</p> <p>黒田庄地区は「黒田庄まちづくり協議会」を5月に設立し、実際に部会等にわかれての運用も始まり、新しいまちづくり活動、自治活動が動き始めた。昨年度、地域自治協議会の設立も含めて検討をし、地区のまちづくり計画の再編を行ったが、その中で地域全体の良いところ、また良くないところを知るため</p>

会 長

委 員

に「まちあるき」を実施した。このことで、地区内に住んでいながら知らなかったことも多く発見し、いろんな意味で地域を見直す機会となった。

黒田庄地区では10年先を見通した立派な地区まちづくり計画もできたので、それを基にした活動を、黒田庄まちづくり協議会を中心に進めていけることと思う。実際に、黒田庄まちづくり協議会の事業として、早速子育ての関係の団体が中心となって8月に子どもフェスティバルが開催される予定となっている。また、自主講座などの開催を通して自主財源の確保を図る計画などもあり、自治協議会として良い形で進んでいければと思う。

委員からの事前の御質問にも黒田庄地区の新しいまちづくり計画に関することがあったが、資料として添付されている黒田庄地区まちづくり計画概要版を見ても、本当によくできていると感じた。テーマに挙げてある「千年の風土を未来につなぐ」というフレーズについて深く感銘を受けた。よく皆さんで考えられたと思う。千年の風土を振り返り、またこの先千年に想いをつなげていくという壮大な感じが伝わり、地域自治協議会の設立やそれぞれの事業も含めて、今、自分たちができることをやっという気持ちが出てきていると思う。

比延地区においても今年度地域自治協議会を立ち上げることができた。地域自治協議会ができてやっとスタートであるので、まだこれからだが、協議会ができるまでは本当にしんどかったという印象がある。大変であったことの一つに、関係の各町区長の理解を得るのが大変であったことが挙げられる。区長の理解度が進まないのが現状で、それぞれの立場もあると思うが、人が変わっていくことにつけて、土木関係、会計関係などの引継ぎはきっちりされていて、まちづくりに関する引継ぎについてはほとんどされていないのが現状となっている。また、地区内の各団体それぞれは熱心に活動をされているが、横のつながりがなかなか持てていないという現状に気づかされた。女性のメンバーが少ないというところも気にかかっているので、そのあたりを今後は話し合いながら考えていきたい。

一方で、地区内の企業から比延地区自治協議会に参画したいという声もいただいているため、運営委員会において準備を進めていきたい。

比延地区はまちづくりが進んでいるという嬉しいお声をいただくことがあるが、地区の過疎化が進んでいるのも確かであるので、それを強みに変えて、地域づくりに頑張っていきたいと

会 長	<p>考えている。</p> <p>比延地区においても地区のまちづくり計画に基づいて、着実にまちづくりを進められているように思う。女性が頑張って活動を引っ張られるということは成功のポイントになると思う。</p>
委 員	<p>地域自治協議会に地元の企業からも参画したいという申し出があるという点は良い流れかと思う。徐々に横のつながりも深まり、様々な局面で手を取り合えるような関係となっていけばまちづくりもさらに進んでいくことと思う。</p>
委 員	<p>私は自治基本条例の策定の頃からすると、約8年活動に加えさせてもらっている。私は比延地区に住んで、地区のまちづくり活動にも参加させてもらっているが、この審議会にも、比延地区で活動されている方が私以外に3名もいらっしゃる。比延地区自治協議会は今スタートしたばかりであるので、これから比延地区が抱えている課題をみんなで考えていきたい。また、これまでから考えていたことではあるが、地区内の福祉送迎車の運行についても実施に向けての検討を望んでいる。</p>
委 員	<p>津万地区でも昨年度地区のまちづくり計画の再編を行った。12年前に第1期まちづくり計画を策定しようとしたときは、とにかく女性を集めてほしいと言われ、多くの女性を集めてまちづくりについて話し合いを進め、まちづくり計画の策定に至った。今回第2期まちづくり計画の策定時は、若い人を集めてほしいと言われ、多くの若い人が参加された。そのため活発に会議が進められたと思う。市長のご挨拶で徹底的に真似をするという意味でTTPという言葉の紹介があったが、私は“AMS”“新しいものを創造する”を考えた。津万地区では今年度さっそく新しい取組をとということで、9月9日に地区を挙げての盆踊り大会を実施しようということになった。盛大に行いたいと思っているので、委員の皆さんも時間があれば是非お越しいただきたい。</p>
委 員	<p>12年前の第1期まちづくり計画では、あじさいまつりの実施とコミュニティカフェの実施を挙げていた。この2つについては現在実現し、今のところ順調で、お陰様で多くの人で賑わっている。</p>
委 員	<p>私は日野地区に住んでいるが、サークル活動で比延地区にもお世話になっている。比延地区はまちづくり活動が日野地区と比べても進んでいると素直に感じる。</p> <p>先日、ユスラウメがたくさん採れたのでジャムにし、近所の方などにお配りしたが、大変喜んでいただいた。作るまでに大変な手間がかかり、周りの人から労いの言葉をいただいた。ま</p>

委員	<p>ちづくり活動など、若いころは苦にもならずいろいろなことを受けてやってこられたが、60歳になり、自分の好きなことをやりながら過ごしていきたいと考えていた。</p> <p>日野地区で続けている地区の歴史などを題材に講談で伝えていくようなイベントの実施に携わっているが、イベントを実施するのは本当に大変で、毎回いつやめようかといった話が出る。しかし、イベントの開催は大変だが、参加してくださる方々の喜んでくれている顔を見るとやりがいを感じることができる。比延地区でのお話などをお聞きし、現在の活動も続けるなどまちづくり活動として協力していきたいと思う。</p>
委員	<p>私も自治基本条例の策定前から西脇市のまちづくりについていろいろと関わらせてもらっているが、地域自治協議会が2地区で設立されるというところまでやっと来ることができ、本当に感慨深いものがある。比延地区と黒田庄地区の両地区が先頭となって地域自治協議会を設立し、モデル事業を実施する流れとなったのは、ある意味必然であったと思う。是非いろいろとチャレンジして推進していただきたいと思う。</p> <p>昨年度、黒田庄地区の地域自治協議会の検討を含めたまちづくり計画再編の会議に参加させてもらったが、その時は会議のメンバーが男性ばかりで、女性の参画が進んでおらず、その点が課題になるかという印象を持った。しかし、本日の添付資料である黒田庄まちづくり協議会設立総会の資料などをみると、かなり女性のお名前もあり、子育てのイベントなども実施される予定ということで、女性の参画、また若い世代の参画が進み、私が受けていた印象とはかなり変わってきているように思う。その点でうまく工夫をされたという印象を受けたが、何か特別なことがあったのかお伺いしたい。</p>
委員	<p>昨年度の検討会議では、当初からまちづくり活動への女性や若者の参加を促すことは重要であるという共通の認識があったため、どうにか女性や若者の参加を進めたいと考えていたが、なかなか難しいため、最初は各団体から無理をお願いして出てきていただいた。女性が多く活躍されている団体もあるため、そういったところに自治協議会の運営委員に入ってもらい、女性が活躍できる場を整えることも意識して進めてきた結果、御覧のように女性の方のお名前も多くなっている。これから先の活動につながっていけばと考えている。</p> <p>女性の参加が進むきっかけとなり得る、良い流れだと思う。自治基本条例の策定から推進まで関わらせてもらった者としてこの先も見守らせていただきたいと思う。</p>

委員	<p>私は今回からこの審議会に参加をさせていただくが、皆さんとともにまちづくりについてのお話をさせていただき、勉強させてもらうつもりで楽しみにしている。</p> <p>私は比延地区のまちづくりに関わらせてもらっていると同時に、重春・野村地区交流推進委員会の事務局をさせてもらっている。施設も地区の状況も異なる両地区に携わり身をもって感じていることは、やはり一言にまちづくりといっても、各地区に合うまちづくりの形があり、求められることや展開の仕方などが異なり、それぞれに合うまちづくりを進めていくことが大切かと思った。また、多くの住民に参加してもらうことと合わせて、行政との連携もうまくとり、協働を進めていくことが重要かと思う。まちづくりは手間がかかり、難しいことも多くあると思うが、強いリーダーがいるときに、いろいろな人に関わってもらい、行政と手を取り合い、強く進める時期があるということが本当に大切だと思う。</p>
委員	<p>子ども会の活動に関して、人が減り、子どもの数が減っても役割は減らないという状況である。子ども会で役割分担が公平に回るように、皆が困らない仕組みに変えるのに3年掛かった。同様に地域自治協議会の立ち上げは大変手の掛かることだが、後々楽になるための仕組みづくりだと思っている。</p> <p>今後、地域自治協議会モデル事業の検証を進めるにあたり、人口・費用・活動の状況などの定量情報や住民アンケートなどから変化を捉えることが必要である。初めての取り組みにつき、色々な変化を捉えることは目論見とは異なる効果や他の地区で展開できるノウハウを見つけることができるかもしれない。査定というスタンスではなく、前向きに振り返り、次に生かすことに繋がられるよう各自自治協議会からの情報提供のご協力をお願いしたい。</p> <p>また、比延地区の6次産業化について、活動が継続し、働く場所の創出につながれば、若者が戻り、地域・活動の活性化に結びつくのではないかと思う。私の東京での仕事の経験から、オーガニック、ロハス、ジビエなどに関わるライフスタイルのニーズは高く、6次産業化の活動は皆さんが想定している以上に東京などの大都市のマーケットのニーズにマッチする可能性がある。</p>
委員	<p>私は、住まいは比延地区で、仕事は津万地区で活動をさせてもらっている。仕事の都合などでなかなか地域の事業に参加はできていないが、両地区の活動は横からではあるものの関心を持って見させてもらっている。これから、それぞれの地区で活発に活動されている取組に、自分なりに参加させていただければと考えている。</p>

<p>委員</p> <p>会長</p>	<p>様々なアイデアが生まれたり、活動の源となったりするのはマンパワーであり、マンパワーは大切な資源であると思う。</p> <p>私は年間100回以上のボランティア活動を行っている。比延、黒田庄の両地区で地域自治協議会ができ、活動を始められるということは素晴らしいことだと感じている。それぞれの地区で開催されるイベントなどに参加をさせてもらうこともあるが、本当にどちらも素晴らしい取組をされており、今回の設立を機にさらに両地区のまちづくりが進んでいけば本当に地区にとって、また市にとっていいことだと思う。</p> <p>黒田庄地区が昨年度実施されたまちづくり計画の再編作業の一環で“まちあるき”をされたということだが、あらためて自分のまちを振り返り、良いところを見つけることができ、郷土愛の醸成につながるため、本当に良いことをされたと思う。まちづくり計画に“千年の風土をつなげる”とつけられたことも思いが詰まっていたいいなという印象を受けた。</p> <p>現在における状態と2年後に目論見通り結果が伴ってきたのか、あるいはそうでなかったのか、また、予想外のことが起こったのかなど振り返り、この審議会でも議論をしていただければと思う。</p> <p>地域自治協議会が広がっていくイメージとしては、やはり理屈をいくら聞いていくよりも、実際に進み始めたところを見ながら進めるほうが効果はある。そのため、進み始めた地区の検証等を他地区などにも広められるよう工夫が必要かと思う。</p> <p>会議に先立ち、多くの良い御質問をいただいた。質問に対する回答に付随して資料を準備していただいたが、この資料が一つのよい会議資料になっている。津万地区、比延地区、黒田庄地区のまちづくり計画や、今年度立ち上げられた地域自治協議会の設立総会の資料など非常に参考になるものであるので、有効に活用させていただきたいと考える。</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>○意見交換</p> <p>(1)参画と協働の進捗について</p> <p>・事務局から資料3「平成27年度及び平成28年度に開催された審議会等の状況調査一覧表」に沿って、西脇市で行われている審議会等の会議の公開や委員の公募、女性委員の参画などの状況について概要を説明</p> <p>(2)参画と協働に関する意見交換について</p> <p>会議録の公開については、個人情報保護といった観点もあるが、開示できる部分のみを開示し、開示できない部分に</p>

	<p>については理由を付すという方法もある。公開は、女性の参画とも併せて重要なところであるので注意深く見ていきたい。</p> <p>例えば、資料のうち西脇市防災会議、水防協議会、国民保護協議会のところで女性の参画が進んでいないように見受けられる。区長が中心であるなど会議の構成について制約があるのかもしれないが、普段の生活から考えて、平日の昼間など女性も含めて防災活動を実施する必要がある場合も想定できるため、防災関係の会議には女性の参画が進むことが望ましい。</p> <p>そういったこともわかるため西脇市で実施されている各種会議等について、資料にまとめていただいているように定期的に調査、検証を行っていただき、我々としても意見があれば伝えていくことが必要かと思う。</p>
事務局	<p>○その他</p> <p>今後の予定について</p> <p>(1)第2回審議会の日程について</p> <p>(2)まちづくり活動審査部会について</p> <p>①西脇市地区まちづくり実践補助事業の審査</p> <p>②西脇市市民提案型まちづくり事業の審査</p>
問合せ先	都市経営部まちづくり課